

♡「平和」そして「子どもと教師」♡

8月6日、広島市の平和祈念式典で、石破首相は挨拶の結びにこの短歌を引用されました。

太き骨は 先生ならむ そのそばに 小さきあたまの 骨あつまれり

この短歌は、原爆の猛火に襲われて、教師を頼って死んでいった子どもたちと、最後まで教え子を守りながら命を落とした教師の無念さを、歌人「正田篠江」が詠んだものです。

そしてこの歌は1971年8月に平和記念公園の南側に建立された「原爆犠牲国民学校教師と子どもの碑」の台座に記されています。また、広島市内の小学生や教職員は毎年8月4日に、この碑の前に集まり慰霊祭を開催しているのです。

式典では市内小学校6年生の関口千恵璃さん（市立皆実小学校）と佐々木駿さん（市立祇園小学校）も、「平和への誓い」を述べました。 ～抜粋～

- どんなに時が流れても、あの日の悲劇を風化させず、記録として被爆者の声を次の世代へ語り継いでいく使命が、私たちにはあります。
- その事実を自分のこととして考え、平和について関心をもつこと。
- 多様性を認め、相手のことを理解しようとする事。

“One voice”

- たとえ一つの声でも、学んだ事実思いを込めて伝えれば、変化をもたらすことができるはずです。

一つの一つの言葉を大切にしながら、原子爆弾投下後の人々の様子や、心の叫びに向き合い、自分たち子どもも平和のために行動しようと訴えた、素晴らしい誓いの言葉でした。

そんな中で、その日の部活の時に『今日は何の日か分かりますか』と部員に尋ねたら、14人中13人が「ポカン！」としていました⑫

戦争の悲惨さと平和の尊さを改めて認識できる8月6日ですが、戦後80年の年月とともに「この日」が人々の心から薄れて行きつつある気がしました。

また、短歌にあるように重なり合うようにして最期を迎えた、当時の子どもたちと教師の関係性は深く尊いもので、教師が信頼されていた証だと感じます。

ところが近年はどうでしょう。度重なる教師の不祥事の影響もあり、その関係性は「信頼」とは程遠いものになってしまっているように見えます。

おこがましいようですが、そんな今だからこそ、多くの教師がこの短歌に触れ、自分の子どもたちへの向き合い方や、自分が子どもや保護者から信頼される存在なのかを問い直す機会としていただきたいと思います。

時は流れても、永遠の平和を願う心、信頼で繋がった子どもと教師の関係性は「不易なるもの」であって欲しいと感じた8月6日でした。



4月～8月の補導状況

令和7年度4月～8月の補導状況は以下の通りで、昨年度と比較して全般的に減少傾向にあるのが窺えます。

～ 青少年の補導状況【累計】（その他の学生・有職者・無職者は該当なしのため省略）～

	行為名	補導総数			小学生		中学生		高校生	
	性別	計	男	女	男	女	男	女	男	女
浅口	喫煙									
	不良交友									
	男女不健全交際									
	怠学	10	3	7					3	7
	校則違反	3	2	1					2	1
	交通指導									
	その他									
	小計	13	5	8					5	8
	注意	116	55	61	1	3	27	13	27	45
	声かけ	209	123	86	88	48	27	12	8	26

昨年度は0件だった高校生の「怠学」が本年度は10件で、内容は主に大幅な遅刻や早退によるものです。特に女子の数が半数以上を占めており気になるところです。

	行為名	補導総数			小学生		中学生		高校生	
	性別	計	男	女	男	女	男	女	男	女
浅口	喫煙									
	不良交友									
	男女不健全交際	1								
	怠学									
	校則違反	9	8	1					8	1
	交通指導	3	2	1					2	1
	その他									
	小計	12	10	2					10	2
	注意	149	78	71	5		40	22	33	49
	声かけ	267	125	142	81	73	33	51	11	18

①で注意は149件から116件へ、声掛けは267件から209件へ減少しました。これは②の中学生男子の注意と③の小学生女子と中学生女子の声掛けの減少が影響しています。
高校生について怠学以外の項目はほぼ昨年並みとなっています。

街頭キャンペーン（7月）

7月9日（水）に本年度1回目の街頭キャンペーンが行われました。これは浅口市青少年育成活動協議会が主催する取り組みで、浅口市青少年育成指導員の方も一緒に活動しています。写真は鴨方駅の活動風景で、朝7時30分以降に発着する列車に乗り降りする学生さんや、一般の方々にキャンペーングッズを配布しました。この日は8時過ぎの列車が発着する頃には、400セットあったグッズが全てなくなり活動を終了しました。

参加者には鴨方中学校の先生方もおられ、改札にやって来た卒業生と『行ってらっしゃい😊』『行って来ます😊』と笑顔で挨拶を交わす姿が、駅全体に爽やかな空気を吹き込んでいました。この関係は「認めて、褒めて、励ます」という中学校の取り組みの成果だと感じました。皆さまお疲れ様でした。次回は11月12日（水）を予定しています。

